

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 015	提案機関名 環境農政部担い手支援課
<b>要望問題名</b> 2015年農業センサスを利用した神奈川県地域の担い手および農地の動向と分析について	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 担い手支援課では、新規参入者等の就農支援、農地中間管理事業を利用した農地の集約化を推進している。現在、新規参入や農地の集約化について、積極的に推進されている地域もあるが、ほとんど進んでいない地域もあり、県内での地域差が大きくなっている。 今後、担い手の高齢化により、農業構造に大きな変化が考えられ、農地や担い手の動向を把握、分析し、県の施策に反映していくことは重要である。 そこで、2015年農林業センサスを用い、県下全域について地域毎(旧市町村単位)の農地、担い手の動向把握、分析をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	企画経営部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	かながわ農業の担い手を育成・確保するための調査研究		
<b>対応の内容等</b>	<p>平成27年12月公表予定の2015年センサス結果を用いて、地域農業の構造変化の把握及び分析に取り組みます。</p> <p>前回の2010年センサスでは、農地の著しい減少傾向は止まったものの、担い手については75歳以上の世代が特異的に増加する一方、それ以下の年齢層は激減しました。これは、この5年間に上記の75歳以上の世代(昭和一代)のリタイヤが急速に進み、農業構造に大きな変化をもたらした結果であると思われます。</p> <p>また、本県の都市部では、農地の資産価値が高いことや就業先が豊富なことから、現在他産業に就業している潜在的農業後継者の退職後の帰農が期待できるものの、県西地域等では地域全体の人口減少が問題となっており、地域間差が大きく生じているものと予想しています。</p> <p>これらのことから、課題取り組みにあたっては、地域性の把握及び担い手の動向に重点を置き、公共施策の具体的な支援や取組が必要な地域を明らかにします。</p>		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			